



県警だより 61

## 埼玉県における犯罪情勢と犯罪防止に向けた取組

埼玉県警察本部生活安全部  
生活安全総務課長

山本 恭茂



### 1 はじめに

埼玉県警察では、基本姿勢を

県民の安全・安心の確保～県民の期待と信頼に応える力強い警察活動の推進～  
と定め、地域における犯罪を未然に防止し、安全で安心な地域社会の実現を図るため、地域住民、事業者、自治体、関係機関とともに「防犯のまちづくり」に取り組んでいます。

### 2 埼玉県の概要

埼玉県は人口約734万人と全国第5位の県です。荒川や全国一流域面積が広い利根川といった豊かな河川、秩父の美しい山並みや見沼の田んぼや武藏の雑木林など豊かな自然に恵まれています。

また、本県は首都圏の中央に位置し、東北・関越・圏央道をはじめとした6つの高速道路や、東北・上越など6つの新幹線により東日本の主要都市と結ばれるなど全国屈指の「交通の要衝」です。

県庁所在地であるさいたま市は内陸県唯一の政令指定都市であり、国内最大級のさいたまスーパーアリーナ、観光名所として長瀞渓谷を行うライン下り、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている川越藏造りの町並み等があり、都市の賑わいや便利さと自然の豊かさを併せ持つ魅力があります。



さいたまスーパーアリーナ



長瀞ライン下り



川越藏造りの町並み

### 3 埼玉県の犯罪情勢

#### (1) 刑法犯認知件数

埼玉県の令和3年中の刑法犯認知件数は、平成16年の18万1,350件をピークに、平成17年以降、17年連続で減少となりました。全国では東京、大阪に次いで3番目に多くなっております。

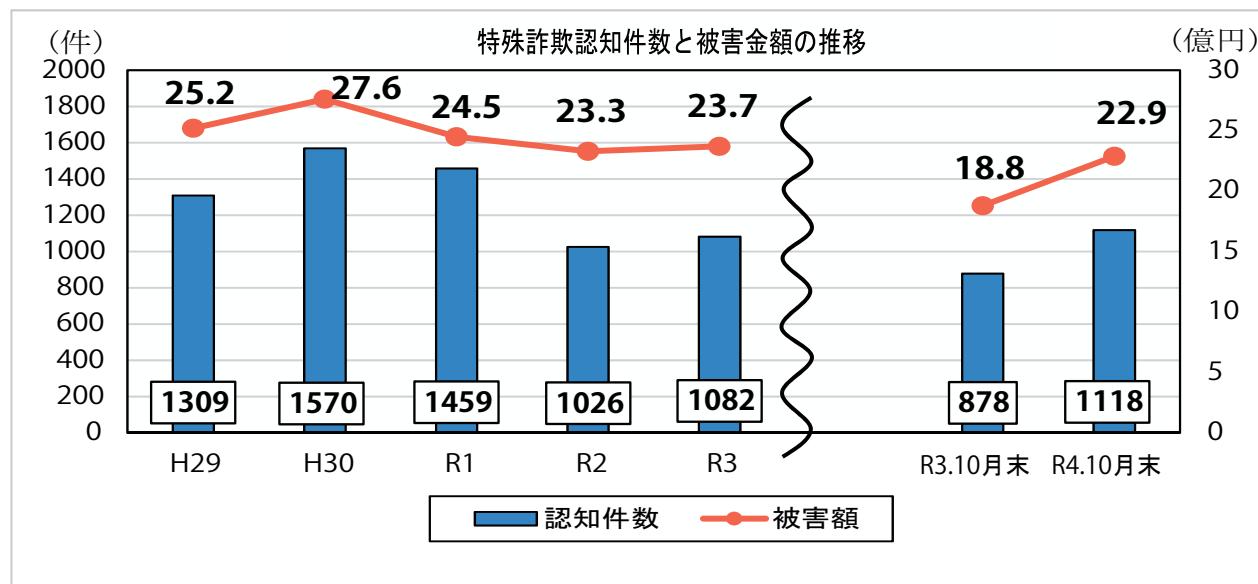
令和4年10月末現在においては前年同期と比べ増加に転じているものの、平成16年以降最少であった令和3年に次いで2番目に低い水準を維持しています。

刑法犯認知件数の継続的な減少に向けては、全刑法犯の約2割を占める自転車盗の増加や全刑法犯の約1割を占める万引き、高止まりしている性犯罪対策などが課題となっております。



## (2)特殊詐欺被害状況

埼玉県における特殊詐欺の認知件数は、過去最高であった平成30年以降、令和元年と令和2年は減少傾向にありましたが、令和3年に増加に転じ、令和4年10月末時点においても前年同期比で約3割増となり、昨年中の認知件数を上回るなど厳しい状況が続いています。



## 4 犯罪抑止に向けた取組

### (1)街頭防犯カメラの設置

埼玉県警察では、犯罪の予防を目的として、平成26年2月から県内随一の繁華街「大宮南銀座」等がある大宮駅東口地区に警察が管理、運用する街頭防犯カメラ40台を設置しております。また、警察が把握している県内の防犯カメラは令和3年4月1日時点で11,083台となっています。

今後も自治体等が行っている防犯カメラ設置に係る補助事業の促進を始め、設置場所の助言等を積極的に実施し、防犯カメラの設置拡大に努めてまいります。



大宮駅東口街頭防犯カメラシステム

## (2)関係機関と連携した取組

### ア 乗り物盗難被害防止に向けた活動の推進

自動車盜を始め、自転車盜やオートバイ盜などの乗り物盜難被害を防止するため、公益社団法人埼玉県防犯協会連合会、一般社団法人埼玉県自転車防犯協会の協力を得て、著名人を活用したポスター・動画を作成したり、一般社団法人日本損害保険協会関東支部、一般社団法人彩の国安全安心事業協会、他県警察と連携した被害防止キャンペーンを実施し、防犯意識の高揚を図っています。



有安杏果さんを起用した  
自転車盗難被害防止ポスター・動画



道の駅「あぐりパークゆめすぎと」での  
自動車盜被害防止キャンペーン

### イ 特殊詐欺被害防止対策の推進

いわゆる「受け子」への対策として、タクシー事業者が加盟する一般社団法人埼玉県乗用自動車協会と協働して注意喚起ステッカーを作製し、タクシー車内の乗客が目にする位置に掲示したほか、受け子や被害者と思われる者を乗車等させた際の事業者との連携強化を図りました。

その他、特殊詐欺対策機器を使用した体験型のキャンペーンを実施したり、犯人の実際の音声データを県警察ホームページに公開し、県民の防犯意識高揚を図るなど特殊詐欺被害防止対策を推進しています。



「特殊詐欺警告・注意喚起ステッカー」と  
タクシー車内の状況



体験型キャンペーン

### (3)幅広い世代の防犯ボランティアへの参加促進

埼玉県警察では、若い世代の自主防犯活動への参加促進及び活動を通じた若年層の規範意識、防犯意識の向上を図るため、ヤング防犯ボランティア「クリッパーズ」を委嘱しており、令和4年度は125名を委嘱しています。



「クリッパーズ」委嘱式



活動状況

### (4)県民の防犯意識の高揚を図る対策の推進

子供を犯罪被害から守るために「4つの約束(ひとりにならない、ついていかない、大きな声で助けを呼ぶ、出かける時は家族に伝える)」の浸透、防犯ボランティア活動の周知を目的として、若年層が主な視聴者であるYouTuberを起用した動画を作成し、埼玉県警察公式チャンネルで配信しています。

その他、幅広い世代の地域の防犯ボランティア活動への参加を促進するための取組を推進しています。



4つの約束・防犯ボランティアの  
周知を目的とした動画



4つの約束(歌)



## 5 結びに

埼玉県防犯設備協会の皆さんには、平成17年4月の発足以来、警察行政各般に御理解と御協力を賜っておりますことに加え、防犯カメラなどの防犯設備の普及や防犯設備士の認定、育成を通じて、犯罪の起きにくい社会づくりに向け、御尽力いただいていることに対しまして、敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

埼玉県警察といたしましては、今後も同協会と緊密に連携し、「県民の安全・安心の確保」を目指し、防犯対策を推進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。